



申し上げます

新春のお慶びを

今年もぴょんぴょんしよう!



A-LAB Exhibition 「はしもとみお木彫展 いきものたちとの暮らし」ではウサギやネコなど生き物たちの木彫り作品を展示します。詳細は15ページ

Pick up!

P4

“あまがさき”を次のステージに!
松本市長が所信表明

P6

新型コロナワクチン
乳幼児の初回接種など

明けましておめでとうございます

新年のごあいさつ

市長

松本眞



新年、明けましておめでとうございます。日頃の市政運営につきまして皆さまの温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。市長に就任して初めての新年を迎えるに当たり、「対話重視」「実行力」「誰一人取り残さない」という3つの政治姿勢で、一步一歩着実に市政へ進めていく決意を新たに致しました。私が尼崎市教育長を務めた平成30年度からの3年間では、さまざまな課題に直面する中で、子どもたちを育むためにはまち全体の力が重要だと痛感しました。市長に就任した今、子育て支援のさらなる充実に向けた取り組みに加え、住環境整備

や地域経済の活性化を進めるなど、尼崎市の発展に努めてまいります。また、今年には「第6次尼崎市総合計画」がスタートする年です。次の10年のまちづくりの新たな羅針盤として、尼崎市を次のステージに進めるために、市民の皆さま、事業者の皆さまと共に取り組んでまいりたいと考えております。引き続き市政運営に温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまにおかれましては、新年が素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

市議会議長

津田加寿男



新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、平素から市議会に対しまして、深いご理解と格別のご協力を頂き、心より御礼申し上げます。さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が依然として予断を許さない状況にある中で、ロシアによるウクライナ侵攻や生活必需品等の価格高騰など、さまざまな社会問題が発生し、市民の皆さま、事業者の皆さまに大きな影響を及ぼした一年でありました。このような社会不安を抱える今だからこそ、地域社会や地域経済の情勢を踏まえ

重要になってきているものと考えております。私たち市議会と致しまして、今後とも、市民の皆さまの付託と信頼に応えるために、公平かつ公正な議会運営に努め、本年4月にスタートする「第6次尼崎市総合計画」の下、市当局と活発な議論を重ねつつ、新しい市長と共により住みよい、住み続けたいまちの実現を目指してまいる所存であります。市民の皆さまにおかれましては、本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が実り多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

松本市長が市役所に初登庁 新しく松本市政がスタート



昨年11月20日の尼崎市長選挙で選ばれた松本眞市長が12月2日、市役所に初登庁し、新しい市政がスタートしました。

松本市長は、多くの市民が拍手で迎える中、市役所入り口に到着しました。

市役所南館2階ロビーでの就任式では、市民や職員を前に、「公務員時代も市民の皆さんや国民の皆さんのために一生懸命働いておりますが、今日からの私は松本眞という一人の人間ではありつつも、『このまちを良くしてもらいたい』『尼崎市がこうであってほしい』というような市民の皆さまの声をしっかりと受け止めて、市民の代表として皆さまに向

き合っていく、そういう想いで市政を進めていけたらと思っております。市民の皆さまと約束したように、尼崎の次のステージに向けて『子育て支援の充実』『まちの魅力とイメージ向上』『一人ひとりに寄り添った市政を目指す』の3つの政策の柱と、『対話重視』『実行力』『誰一人取り残さない』の3つの政治姿勢を胸に取り組んでまいります。これからの4年間、市民一人ひとりの想いに寄り添い、『国で決まっているから』『予算がないから』を言い訳にせず、課題解決のために何ができるかを皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します」と就任のあいさつをしました。



稲村前市長が退任 市役所で退任のごあいさつ



昨年12月1日、12年間の職務を終えた稲村前市長の退任式を市役所南館2階ロビーで行いました。

稲村前市長は、「退任に当たって、たくさんの皆さまにお集まりいただき本当に胸がいっぱいです。ありがとうございます。就任時、元気な尼崎をつくっていくために改革を行うとお誓いしてから12年、財政再建は平たんではない道のりでしたが、多くのの方々のご理解とご協力により一定の道筋を付けることができました。そして財政状況が厳しい中でも『ピンチをチャンスに』を合言葉に、『どうやったらできるか、何ができるか』とオールあまがさきで考え、多くの皆さまと力を合わせてさまざまなプロジェクトが生まれまし

た。私はこの尼崎市民の力を心から誇りに思います。この力と市役所の力がしっかりと発揮されれば今後もどんな困難も乗り越えていけると確信しています。誰でもいつでもまちづくりに参加でき、そこでの出会いや経験から学びや刺激をもらって自分らしく活動できるまちを目指して頑張ってきました。これからは私も一市民として『ひと咲き まち咲き あまがさき』の実現に向けて尼崎の自治のまちづくりに参画していきたいと思います。12年間、本当にありがとうございました。と締めくくりました。

その後、多くの市民や職員が拍手で見送りました。



“あまがさき”を次のステージに！ 人が集まる賑わいのあるまちへ

1032962 園都市政策課 ☎6489・6138 FAX 6489・6793

第11回市議会定例会で、松本市長が就任のあいさつをし、市政への所信を述べました。また、この所信表明に対し、議会各会派の代表が代表質問をしました。ここでは、所信表明の概要をお伝えします。

尼崎市は、戦後、工業都市として急速に発展を遂げた一方、公害問題に苦しみ、さらに、成熟社会を迎える中で、財政難という大きな課題に直面してきました。

しかしながら、こういった中でも、市民の皆さまの力により、これら課題の解決に向けて、着実に歩を進め、今、少しずつ、次のステージに向けた「胎動」が始まりつつあります。これは、尼崎を良くしようとする方々でこれら多くの方々の努力が、具体的な形となって現れた成果です。

私の役割は、その多くの方々の努力に思いを致しつつ、この「胎動」を、確実なものとし、次のステージに進めることにあると考えています。

「住みたいまち」、「住んで良かったまち」、尼崎に関心と興味を抱き「人

が集まる賑わいのあるまち」へと発展させる。こういった基本的なビジョンを持ちながら、人々の生活に最も密着した基礎自治体の強みを活かしつつ、5つの観点から、それぞれの施策を連関させ、全体の底上げを図ります。

① 「子育てのまち」、「学びたいまち」あまがさき

長期的に尼崎の成長を考えたとき、まず、力を入れるべきは「子育て・教育」の充実です。

私自身の文部科学省、教育長としての行政経験も活かしながら、「子育てのまち」、「学びたいまち」の実現に向けた取り組みを全力で進めます。広く子育て世帯が対象となるよう、18歳までの子どもの医療費の無償化に向けた

取り組みを、任期中に必ずや一歩、二歩と前進させます。

また、待機児童対策など、子育て支援のさらなる充実に向けた取り組みを進めます。

子どもの育ち支援センター「いくしあ」を中心に、関係機関との連携を強め、妊娠・出産から就学後までの切れ目のない相談・支援を充実させます。また、一時保護所を含む児童相談所を設置し、「いくしあ」と一体的な支援を行うことで児童虐待などへの対策を強化します。

学力向上に向けた取り組みとともに、スクールロイヤーの配置などいじめ問題への対応を強化します。

多様性を認め合う学校環境の実現に向けて、不登校児童生徒への対応を強化します。また、障害のある子どもや

これら取り組みに加え、まちの魅力を、戦略的・効果的に情報発信することなどを通じ、プロモーションを強化し、まちのイメージ向上を図ります。

④ 地域経済の活性化と脱炭素社会に向けた取り組み

若者が、新しいことにチャレンジをして、新たな価値を創っていく、そして、尼崎から全国へ、そして世界へと挑戦することを応援できるような環境をつくりたい。そのため、新規産業創造支援や事業継続支援に力を入れていきます。

さらに、性別や年齢などに関わらず、それぞれが持てる能力を最大限発揮できるような市内就業環境の実現に向け、職業能力開発や企業との対話を推進するなどの取り組みを充実させます。

また、とりわけ南部を中心として、尼崎市の有する豊富な歴史・文化的資源と商店街などが連携しながら、海外からの観光需要を高めるための戦略的なインバウンド推進を図ります。

「あまやさい」の給食等での利用推進や、尼崎産農産物のブランディングなどを通じた市内農業の推進、そして、商店街の活性化をはじめとした地域内経済循環を促進させます。

尼崎市の公共施設の建設・改修に当

たつての環境配慮も含め、食品ロス、プラスチックごみの削減など、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする脱炭素社会に向けた取り組みを着実に推進します。

⑤ 市民とともに市民に寄り添う市役所

市政の重要事項の意思決定に女性の視点が入るよう、女性幹部の積極的登用を進めることをはじめ、多様性を重視した組織体制を構築します。

また、福祉人材の確保と育成、最高情報責任者の設置による市役所の情報推進体制の強化、NPOや民間企業などとの透明性を確保した上での積極的な連携などの取り組みを強化します。

加えて、これまで、長年、尼崎市が努力し続けてきた堅実な財政運営を遵守しつつ、外郭団体の改革と戦略的な活用推進、市長退職金の見直しなど、行財政改革についても進めます。

すでに進行中であり、かつ、今後、構想を具体化していくプロジェクトが多く控えています。アンテナを高く張り、議会の皆さまともしっかりと議論しつつ、尼崎の成長のために、臨機応変かつ機動的な対応ができるよう心掛けます。

医療的ケア児の学習を保障するとともに、共生社会の実現に向けたインクルーシブな教育を推進します。

学校の教職員の働き方改革、地域に開かれた学校の実現を目指し、子どもにも、教職員にも、地域にも魅力ある学校づくりを進めます。

また、若者の声・意見を市政に反映させられるよう、ユース交流センターを拠点とした青少年の社会参画を促進します。

② 誰もが暮らしやすいまち

一人ひとりの市民に寄り添うことは、市民の生命と財産を守ることを基本的役割とする市政の根幹部分であるという意識を持ちながら、各施策を充実させます。

人権については、常に新しい課題が

私は、「対話重視」、「実行力」、「誰一人取り残さない」の3つの政治姿勢を大切にすることを訴え続けてきました。基礎自治体たる尼崎市政の基本的役割とは、尼崎の成長のビジョンをしっかりと描きつつ、一方で、尼崎市で生活している市民の皆さまの息遣いを感じ取り、それぞれが抱える課題にしっかりと寄り添うことであると考えています。

市民の生活は、市政だけでなく、県政、国政とそれぞれが複雑に関わり合いながら支えられています。市政が最も市民の皆さまと距離が近く、そして声を拾い上げることができる立場にすることは間違いありません。だからこそ、尼崎市政が、この強みをしっかりと活かしていくことが大切です。

私自身はもとより、全職員が、あらゆる場面を通じて、「誰一人取り残さない」という意識を持ち、市民の皆さまとの「対話」を積極的に続ける姿勢を大事にした上で、県政や国政も巻き込みながら、是々非々で議論を深めていく、そして、具体的な施策へと具現化していく「実行力」を重視しながら、「政策」の内容で、市民の皆さまのご期待に添えるよう、初心を忘れることなく、全力で「あまがさきを次のステージに」進めます。

③ 住環境整備、まちの魅力とイメージの向上

民間と連携した駅前の賑わいづくりに向けたプロジェクトの推進、質の高い住宅供給の促進、空き家対策など、良好な住環境整備とまちの活性化に向けた取り組みを進めます。

また、路上喫煙対策を強化し、受動喫煙とポイ捨てのないまちを目指すとともに、戦略的な防犯対策などを通じて「体感治安」の向上に取り組みます。

各地区の生涯学習プラザを拠点として、市民発意の取り組みや協働を促進するとともに、地域支援機能の充実を図ります。また、図書館機能の充実、そして、歴史文化を学び育むまちづくりに向けた取り組みを進めます。